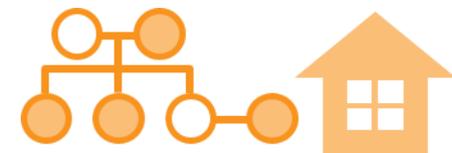


1. 相続とは



相続とは、

個人が生前に持っていた財産（一切の財産的権利義務）を家族や親族に引き継ぐこと

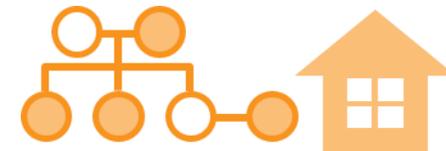
積極財産
(プラスの財産)

**土地、建物、預貯金、国債、
投資信託、株式・・・**

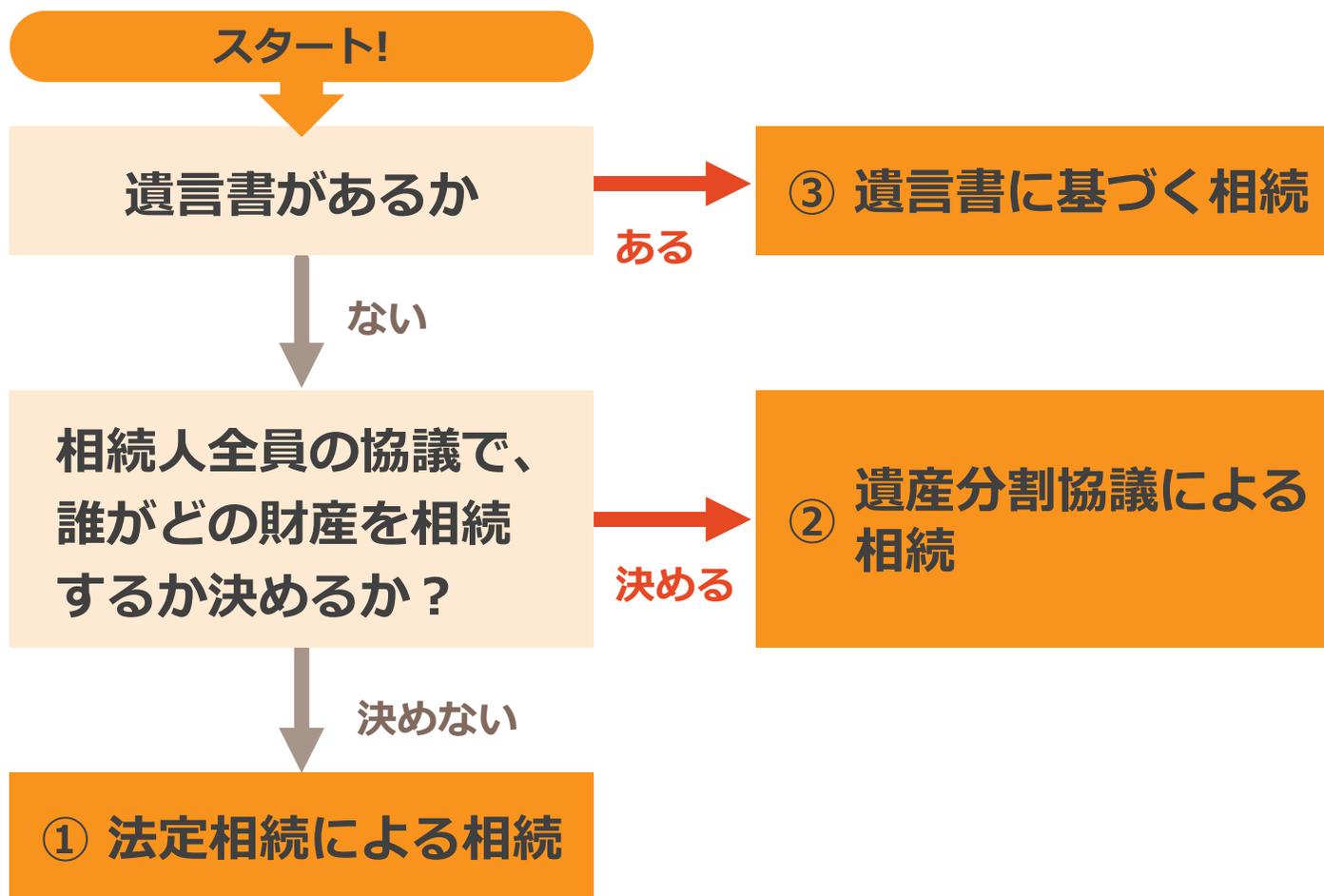
消極財産
(マイナスの財産)

**住宅ローン、カードローン、
税金、治療費、葬儀費用・・・**

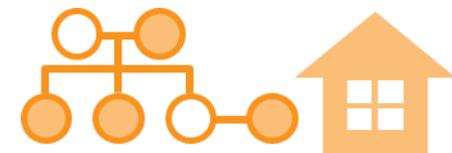
2. 相続の決め方



相続の決め方は大きく分けて3つ



3—① 法定相続



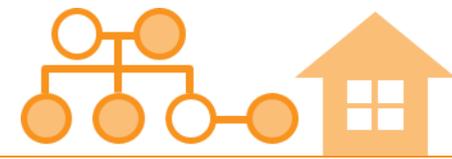
誰が相続人となり、相続分はいくつになるかについては、ルールがあります。

<相続人と相続分>

- 配偶者は常に相続人となります。配偶者以外の相続人が複数人いる場合には、その人数で均等に割ります。
- 配偶者との組合せで相続人となるのは下記のとおりです。
(民法第887条、889条、900条)

相続順位	親族の種類	相続分	配偶者の相続分
第一順位	子	2分の1	2分の1
第二順位	直系尊属（親）	3分の1	3分の2
第三順位	兄弟姉妹	4分の1	4分の3

3—② 遺産分割協議による相続



誰がどのように相続するかは、相続人全員の合意による遺産分割協議により決めます。



<遺産分割トラブルの事例>

- 相続人調査の最中に、親が認知した子がでてきた
- 行方不明者、認知症の方、海外居住者が相続人にいる
- 相続財産が自宅のみで、兄が生前親と同居しており、均等に遺産を分割できない